

赤江 公民館だより

赤江地区民 みんなの合言葉

- 気持ちのよい あいさつを交わしましょう
- ごみを拾って きれいな町にしましょう
- 青少年の非行を防ぎましょう

赤江交流センター発行 TEL・FAX(0854)28 - 8982
メールアドレス akae.cs@city.yasugi.shimane.jp

館長のおもやま話



No.155 令和6年3月号

あっという間に3月という今年度最後の公民館だよりとなりました。ありがたいことに、多分よいしょされてのことだと思いますが、何名かの方から「毎月読んでますよ」という励ましの言葉をちょうだいしています。ついつい長くなるのが、よくないことだと思っていますが.....。

さて、3月に入り、暖冬とのことから、春が来るのも早いものと思っておりましたが、このごろ寒い日が続いています。我が家のサクランボも昨年はずでに満開だったという家内の話でしたが、やっとこのごろ1輪ずつ咲こうとしています(3月12日現在)。花が早いこともあってか、蜂があまり飛ばないことからかあまり実はずきませんが、花を見るだけでもよいかと切らずにおいているところです。いけません、くだらない話をしました。

まずは、大切なお話をします。それは、赤江地区社会福祉協議会の皆さんを中心に取り組まれている生活支援協議体「ちまちだ」の中に、今年度4月から、自宅の庭の管理や自宅の片づけ等でお困りのお年寄りや障がいをお持ちで苦労されている家庭に対して、お世話をするボランティアグループ「結いの会」という組織がこの赤江にも発足しています。しかしながら、実際に活動したのは1件のみで、年間を通じて何度か活動されました。このことは、お困りの方を家族の方や周りの方で支えていただいている結果かもしれません。しかし、今は何とかやっているが、近い将来「結いの会」のお世話になりたいという家庭が10件ほどあるとの話を先日の「ちまちだ」の会合で聞きました。皆さんの中で、『支援の必要がある』というご家庭があれば、地区担当の民生委員さんか交流センターまでご連絡いただければと思います。

それでは、まず、2月の公民館だよりでお話した以降のイベントなど、お伝えしたいと思います。2月17日(土)、女子カフェで『手作りパン教室』を行いました。ご指導いただいた方は、勤めの関係で東京で生活されていた時にパン作りの資格をとられ、現在はパン教室やオリジナルパン創作など取り組んでおられる方です。講師の先生が午前中に一次発酵までしていただいたこともあり、皆さんスムーズにできました。オーブンで焼き上げるときに電気を使いすぎ、途中ブレーカーが落ちたりと色々トラブルもありましたが、ご指導の賜物で美味しいパンを作ることができました。来年度も計画したいと思います。



「手作りパン教室」の様子

翌日の18日(日)、赤江スポーツ協会主催の『ソフトバレーボール大会』が赤江小学校の体育館で開催されました。私もほんのわずかな時間でしたが、見に行きました。参加された自治会の皆さん、本当に和気あいあい楽しんでおられるように感じました。ちなみに優勝されたのは別



「ソフトバレーボール大会」の様子

石自治会でした。おめでとうございます。来年度はもっと多くの自治会が参加されるよう願っています。

19日(月)、めだかクラブの4~6年生対象の『バレンタインクッキング』でチョコパイを作りました。協力いただいたボランティアの皆さんのおかげで、参加した子どもたちも喜んで作ることができました。



「バレンタインクッキング」の様子

29日(木)、赤江小学校出身の安来三中の一年生達が、交流センターが避難場所

となっていることもあり「防災学習」で来館してくれました。事前にいただいた質問事項をみると、専門的な内容が多くあり、あらかじめ防災課に問合せをしたりし、何とか汗をかきながらお話をすることができました。話の中で、二階の集会室から下まで高さを測ったところ、3m50cmでした。ということは、3m以上の津波に遭遇した場合は避難場所とはならないことなども話しました。ちなみに交流センターは海上2m80cmと玄関に表示されています。また、賞味期限が今年の8月ごろとなっている非常食を処分してよいと市から指示があったため、「野菜スープ」とちょっと内緒でクラッカーを試食してもらいました。それと噂では、あまり美味しくない?とされているアルファ米をお土産に持ち帰ってもらいました。

3月になり、6日(水)の夕刻に赤江地区健康会議の成人保健部会の研修会として島田歯科医院にお勤めの先生からお話をお聞きました。詳しい内容は、一緒にお配りしています「健康だより」をご覧ください。

今年度新事業の13日(水)の『グランドゴルフ』、15日(金)の『島根魅力発見レクリエーション』については、来月号に掲載したと思います。

少し早かったのですが、2月14日(水)に赤江交流センターの運営委員の皆さんにお集まりいただき、今年度当交流センターで実施しました事業等について、ご意見をいただきました。概ねよい評価をいただきました(多分、色々のご意見があったことと思いますが)。私なりに、振り返ってみたいと思います。

まず、第一に、7月23日(日)、『赤江マルシェ』に協賛し、『ちょこっと喫茶』をプレオープンしました。これは、令和四年度に『レコード喫茶』を開催した時に、中心的に動いていただいた方から、今後も定期的集って、レコードなど聴きながら話しをする場づくりをしてはどうかと提案があり、私もその必要性を感じていたのので、その方と同級生3名の方が中心となり、開店する運びとなりました。県の助成金を受け、情報科学高校の生徒さんに開店日を知らせる「幟づくり」やエプロンのデザインをしてもらいました。昨年9月からは、原則毎月1日に定期開店されています。お陰で、当初予定していた保育室(別名本の部屋)では対応できなくなり、隣の休養室で開店するという盛況ぶりです。今では、この4名の方が主体的に運営されています。

次に、県のふるさと定住財団の事業を活用し、UIターン者との地域交流事業を行いました。この内容は、12月の公民館だよりも掲載しましたが、そのひとつが、『カリフォルニアロールづくり』でした。安来にIターンで来られたハワイで日本食店を経営されていた方に教わり、色々な巻きずしを作ることができました。二組のIターンの方に親子で参加していただきました。また、鳥取県南部町で飲食店を営んでいる赤江地区出身の方から、燻製づくりを学び、その後、事前に作っていただいた燻製品を食べながら懇親会を行いました。出身地の論田でお店を開かれる予定です。

前半でお話しました『手作りパン教室』もそうですが、広く安来市にも色々な特技や・技をお持ちの方が沢山お住みだと感ずるこの1年でした。『ちまきづくり』や『しめ縄づくり』なども同様に、この赤江交流センターの各事業のほとんどは、こうした皆さんの善意で成立しているものと思います。もう一つ反省として、今年度の『赤江文化祭』では、赤江消防団の皆さんに当初予定していたなかった片付けにまでご協力いただき、大変ご迷惑をお掛けしました。主催者として、もっと計画的な運営の必要性を強く感じました。

最後に、お詫びしたいことがあります。ご存じのことと思いますが、赤江小学校創立 150 周年となり、その事業の一貫として昨年秋には赤江小学校 PTA の皆さんを中心に『花火大会』が催されました。そこで、すでに発刊されている『赤江教育 100 周年』はありますが、その後の 50 年の記録をどうするのか、交流センターとしても何とか資料集めだけでもしたいと思っていました。しかし、この 1 年、取り組むことができませんでした。お許してください。

ここからは、皆さんへのお願いです。私の方で別添のとおり、その後の 50 年間の記録のある『ことがら』について、まとめてみました。次年度こそ、資料の収集や聞き取りなど実施したいと考えているところです。今後、記念誌を作成するのは、多額の資金に係ることも考えると未定事項ではありますが、来年度以降、皆さんの協力を賜りながら資料収集を開始したいと考えています。何卒、ご支援、ご協力いただきますようお願いいたします。できれば、4 月以降の『館長のよもやま話』の中でお伝えしたいと思っています。

もしかしたら、これまでの中で、一番長くなったような気がします。最後まで読んでいただきましたことありがとうございます。4 月からも頑張って書こうと思っていますので引き続きよろしくをお願いします。

お知らせ

◇4 月の行事予定

1 日(月) ちょこっと喫茶 (10:00~12:00、一階休養室にて)

21 日(日) 合同総会

29 日(月) バイオリン&ハープ デュオ X(イクサ) スプリングコンサート(14:00 開演)

…詳しくは今月配付のチラシをご覧ください。



◇交流センターの忘れ物について



赤江交流センターに長期置いてある傘などの忘れ物を玄関入り口にまとめています。5 月には処分しますので、心当たりのある方は、お早めに引き取りをお願いします。